

出雲市地域公共交通計画（評価指標）の変更について

出雲市では令和5年1月に「出雲市地域公共交通計画」を策定し、この計画の達成状況を評価するため9つの評価指標を設けています。

評価指標①として「公共交通の市民1人あたりの年間利用回数」を設定していますが、下記のとおり変更を検討しています。

このことについて意見を募集します。

記

(1)変更の理由

出雲市地域公共交通計画施策1-1において掲げている広域幹線(バス)の地域公共交通確保維持事業(幹線補助)を活用するためには、評価指標に利用者数を設定する必要があるため。

(2)変更の内容（変更する部分のみ抜粋）

項目	変更前	変更後
評価指標①	公共交通の市民1人あたりの年間利用回数	公共交通の年間利用者数 (公共交通の市民1人あたりの年間利用回数)
指標の定義	【定義】 対象路線の年間利用者数※1の合計値を人口(3月時点)で割った値	【定義】 対象路線の年間利用者数※1の合計値 (対象路線の年間利用者数※1の合計値を人口(3月時点)で割った値)
現状値	1.69回/人・年(令和3年度(2021))	294,474人(令和3年度(2021)) (1.69回/人・年(令和3年度(2021)))
目標値	2.37回/人・年(令和9年度(2027))	402,900人(令和9年度(2027)) (2.37回/人・年(令和9年度(2027)))

※1 従来のバス会計年度を適用

【変更内容の修正について】

「変更後」の記載内容を「公共交通の年間利用者数」としていたが、「公共交通の市民1人あたりの年間利用回数」を併記するように修正した。